

学校教育目標 豊かな人生を切り拓き、よりよい未来の創り手となる生徒の育成

波佐見中学校学校便り

第23号
編集・発行
波佐見中学校
校長 池本敦司

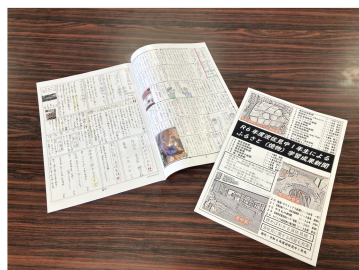
総合的な学習の時間の成果 生徒による情報発信と波佐見町への新たな提案



中学生議会で提案する生徒＝11月19日 波佐見町議会会議場にて(裏面に新聞記事掲載)

11月19日(火)、3年生がこれまで学んできた総合的な学習の一つの成果として「地域への貢献と発信」を目的とし、中学生議회를開催しました。発表内容はSDGs、空き家対策、耕作放棄地の開発、小児科の充実、ごみ問題、地産地消のレトロカフェなど、現在の波佐見町の姿を中学生の視点から見ると、「こうすればもっと町が活気づく」

「自分たちで波佐見町を盛り上げるとすればどうすればいいか」「波佐見町を子育てしやすい町にするには」といったことを、プレゼンテーションして提案しました。早速、提案した中から、自分たちで考えたメニューを提供するカフェが、町役場の方からも注目され、近々実際に提供してはどうかという話が進んでいます。自分たちが提案したこ



生徒作成の成果物

とが形になりそうです。また、1年生が取り組んでいた、ふるさと(焼物)学習も、新聞形式でまとめた成果物が完成し、自治会の回覧や各施設に閲覧用に配付しています。代表の生徒たち24名分の新聞を冊子にしています。体験したり、調べたり、時には実際に現地へ赴いて話を聞いたりしたことや丁寧なまどめていきます。お手元に届いた際は、一読していただける生徒たちも励みになると思います。よろしくお願いします。

人権講演会

パリパラ金メダリスト 梶原大暉さんをお迎えして

12月17日(火)パリパリピック大会のバドミントンで金メダルを獲得された梶原大暉さんをお迎えし、講演をしていただきました。野球少年だった梶原さんが13歳で交通事故に遭いその後バドミントン選手として金メダルを獲得するまでの努力された話でした。「後悔しないためにも妥協しない」「未来の自分の姿を想像して頑張る」「感謝の言

葉を口に出す」「後悔をせよにすることは不可能だが減らすように努力することはできる」といった話から、梶原さんの芯の強さが感じられました。次の目標は、個人もダブルスも金メダルです。実際に金メダルも触らせていただきました。ずっしりとした重さは梶原さんの努力そのものだと思います。

先日スマートフォンを操作中「OK」ボタンを押す。画面が変わらない。次の画面に変わるまで時間して10秒程度。その間何度も「OK」ボタンを押す▼通販で頼んだものが指定の時間に届かない。「今日の夕方届くはずだったよね」何度も配送状況を確認する▼便利な時代になり、多くのことが瞬時に処理され「待つ」ことが少なくなった。自分を待たせる相手の状況に思いを馳せ、想像する余裕も持てない?ラインの既読DM、ボーリアル?...相手を許容して「待つ」ことができます▼SNSが無い時代、手紙の返事を待ったり、時間と場所を決めて待ち合わせたり、そこには相手のことを想像する時間がたっぷりあった▼もういくつ寝るとお正月。時間の流れは変わらな

校長日記

第2回学校運営協議会

12月10日(火)第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、生徒会役員選挙の立会演説会の様子を参観していただいた後で、1学期の学校評価をもとにしながら、日頃の学校運営に関することを協議しました。

子供たちが悩みを相談しやすい雰囲気づくりや、自治会も行事等が削減される中で、地域に親子で参加できるものと考えていくこと、部活動の地域移行について、波佐見高校との連携(コラボレーション)を一層図ってほしいといった意見が出されました。

中学校も次年度に向けて、いただいた御意見を参考にしながら、学校経営方針や年間暦の作成等に反映させていきたいと思ひます。

いながら新年を迎えたい。